

## 平成 29 年度 公開講座の活動報告

高知女子大学看護学会公開講座「やってみてわかる！分析方法」 共催：高知県立大学  
今年度は看護研究をテーマに、第 1 回・第 2 回は「やってみてわかる！看護の質的研究」  
質的研究、第 3 回・第 4 回は「やってみてわかる！看護の量的研究」を開催しました。

各回に、臨床や大学院で看護研究に取り組んでいる看護職者や学生、臨床や教育で研究  
指導に携わっている看護職などの参加がありました。

### 第 1 回 インタビューガイドの作成とインタビューの実際

日時：平成 29 年 9 月 23 日（土） 9:30～12:30

場所：高知県立大学 池キャンパス 看護福祉棟 206 教室

講師：高谷 恭子 先生（高知県立大学看護学部講師）

参加者：21 名

第 1 回公開講座は講師の高谷恭子先生より、看護の質的研究における研究のプロセスと  
して、研究テーマの選定、研究枠組み、半構造化面接のインタビューガイドを用いたデー  
タ収集、具体的なインタビューの進め方についてご講義いただきました。また、インタ  
ビューの具体的なポイントを押さえた後、『入退院を繰り返す血液疾患患者をケアする看護師  
のケアリング』という研究テーマに対して参加者間でインタビューガイドを作成し、イン  
タビューに挑戦するという演習も行いました。

参加者からは、「これからインタビューガイドを作成していく段階だったのでとてもタイ  
ミングよく聞くことができよかったです」「実際にインタビューを実践するなどわかりや  
すかった」「研究の枠組みをもとにインタビューガイドを作成することの必要性和難しさが  
とてもよくわかりました」などのご感想をいただきました。



## 第2回 インタビューデータの分析

日時：平成29年9月23日（土） 13:30～16:30

場所：高知県立大学 池キャンパス 看護福祉棟 206 教室

講師：池添 志乃 先生（高知県立大学看護学部教授）

参加者 22 名

第2回公開講座では講師の池添志乃先生より、看護の質的研究におけるインタビューの分析方法についてご講義いただきました。インタビューで得られたデータに向き合い、語りの一つひとつに対してどのような意味があるのだろうか、何度も何度もデータに戻りながらその意味を探求し、コード化、サブカテゴリー化、カテゴリー化とラベル付けをしていく方法について学びました。また、実際のインタビューデータを用いて参加者間で対象者の語りの意味を検討することや、語りの内容に対してコード化を行う演習も行いました。

参加者からは、「今までに受けた講座で一番わかりやすかったです」「インタビューデータの分析について語り（データ）を大切にして、すすめていくことの重要性を学ぶことができました。」「データを大事にするの意味がよくわかりました。ネーミングは難しいと思いますが、何回も読み込んで実践していきたいと思いました。ありがとうございました。」などのご感想をいただきました。



第1回・第2回を通しての参加者もいらっしゃいました。皆様、講義にも演習にも熱心に、積極的に取り組まれており、目の前で起こっている現象の意味を探求する質的研究の面白さを体感しているようでした。

ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。これからも皆様の研究活動に役立つ講座を企画していきたいと思っております。

### 第3回「やってみてわかる！看護の量的研究」質問紙の作成とデータ分析の入り口

日時：平成29年9月30日（土）9：30～12：30

場所：高知県立大学 池キャンパス 看護福祉棟 206 教室

講師：内川洋子先生（高知県立大学看護学部准教授）

参加者：11名

第3回公開講座は、講師の内川洋子先生から、「質問紙の作成とデータ分析の入り口」のテーマで、看護の量的研究を行うための統計的な分析の基礎について講義をしていただきました。講義では、内川先生が行ってきた研究を例に挙げながら、質問紙の作成での工夫や留意点など説明がされました。また、文献による研究目的や研究枠組みの特徴などを分かりやすく説明いただきながら、質問紙を作成するために研究課題を明確していく大切さなどについてお話しくださいました。

参加者からは、「とても分かりやすく理解することができました。テーマを選定するときは研究意義や何に疑問をもって何を明らかにしたいかを明確にしておかなければ、質問紙の作成内容にも一貫性がなくなることを理解できました。」「少人数で学ぶことができ本当にわかりやすかったです。ポイントを再確認することができ自施設に戻って共有したいと思います」「難しい内容でしたが先をよみながら研究をすすめることが大切なのだとわかりました。」などのご感想をいただきました。



## 第4回「やってみてわかる！看護の量的研究」量的データ分析の進め方の実際

日時：平成29年9月30日（土）13：30～16：30

場所：高知県立大学 池キャンパス 看護福祉棟 206 教室

講師：井上正隆先生（高知県立大学看護学部講師）

参加者：10名

第4回公開講座は、講師の井上正隆先生から、「量的データ分析の進め方の実際」のテーマで、いくつかの例題を挙げて、どのようにデータ分析を進めればよいのかなどご講義いただきました。データを集計する方法などについても、いろいろな研究方法や、統計法の見分け方、分析結果の読み取りなどについて分かりやすくお話しくださいました。また、参加者の研究を行う中での疑問についても助言をいただきました。

参加者からは、「楽しく参加できました。学生時代に教えてもらっていたら研究がきらいにならなかったと思います。」「具体的で詳細な説明で大変理解しやすく学べました。」「先生がかなりくだいた話をしてくれて、分かりやすかった。量的研究をする上でのちょっとしたコツなどとても勉強になった。おもしろかったです。」などのご感想をいただきました。



第3回・第4回と1日を通して参加の方々も、最後まで熱心に取り組まれました。ご参加くださいました皆様、ありがとうございました。